

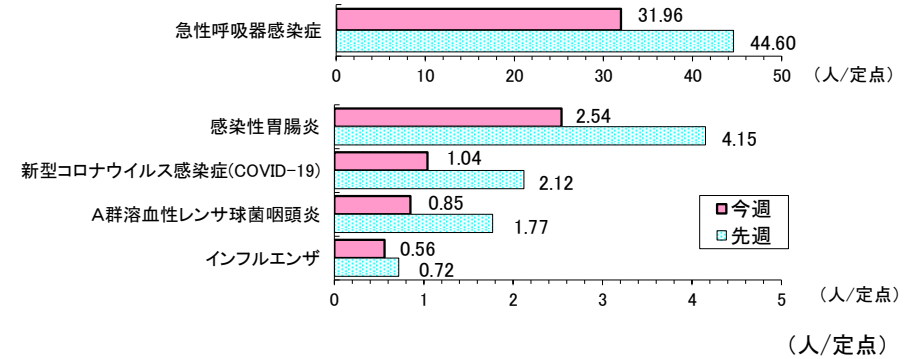


【第19週の発生動向】

< 定点把握対象疾患(週報)・前週比 >

- 急性呼吸器感染症は、県全体で28%減少しています。保健所別では、全ての保健所で減少しています。
- 感染性胃腸炎は、県全体で39%減少しています。保健所別では、北秋田、能代、横手で増加、秋田市、大館、秋田中央、由利本荘、大仙で減少しています。
- 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、県全体で51%減少しています。保健所別では、大仙、横手で増加、秋田市、大館、北秋田、能代、由利本荘、湯沢で減少しています。

秋田県の定点医療機関における上位5疾患の発生規模



< 定点把握対象疾患(週報) >

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢					
	第18週	第19週	増減	第18週	第19週	増減	第18週	第19週	増減	第18週	第19週	増減	第18週	第19週	増減	第18週	第19週	増減	第18週	第19週	増減	第18週	第19週	増減	第18週	第19週	増減	第18週	第19週	増減			
インフルエンザ	0.72	0.56	↘	0.11	0.11		0.50	1.00	↗	2.00	1.50	↘	0.50		↘	0.50		↘				0.50	1.50	↗	1.50	1.50		3.00	1.00	↘			
新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	2.12	1.04	↘	1.89	1.33	↘	4.00	0.50	↘	1.00	0.50	↘	1.00		↘							2.50	1.00	↘	1.50	2.00	↗	0.50	1.00	↗	7.50	2.00	↘
急性呼吸器感染症*	44.60	31.96	↘	49.00	40.00	↘	99.00	44.50	↘	28.00	15.50	↘	11.00	3.50	↘	26.00	11.50	↘	70.00	61.50	↘	30.50	29.00	↘	32.00	24.50	↘	40.50	29.50	↘			
RSウイルス感染症	0.23	0.23		0.60	0.60																												
咽頭結膜熱	0.23		↘	0.40		↘				1.00		↘																					
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.77	0.85	↘	1.20	0.80	↘	1.00	1.00		1.00	1.00	↘				2.00	1.00	↘	13.00	4.00	↘					1.00	↗						
感染性胃腸炎	4.15	2.54	↘	6.60	2.40	↘	4.00	2.00	↘	3.00	4.00	↗	1.00	9.00	↗	2.00		↘	8.00	3.00	↘	1.00		↘	2.00	3.00	↗						
水痘	0.46	0.08	↘	0.80	0.20	↘													1.00		↘									1.00		↘	
手足口病	0.15		↘																2.00		↘												
伝染性紅斑	0.31		↘				4.00		↘																								
突発性発しん	0.23	0.08	↘					1.00	↗										2.00		↘				1.00		↘						
ヘルパンギーナ																																	
流行性耳下腺炎	0.08		↘	0.20		↘																											
川崎病																																	
急性出血性結膜炎	0.14		↘							*	*		*	*		*	*								1.00		↘	*	*				
流行性角結膜炎	0.29	0.14	↘	0.67	0.33	↘				*	*		*	*		*	*													*	*		
細菌性髄膜炎																*	*																
無菌性髄膜炎																*	*																
マイコプラズマ肺炎		0.13	↗		1.00	↗										*	*																
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																*	*																
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)																*	*																

(注)・表の数値は、定点医療機関から報告された患者報告数を定点医療機関数で除した値(定点あたり患者報告数)を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。

・今週の保健所別患者報告数、定点医療機関数などは2ページに掲載しています。

・「*」印は、当該疾患に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。

※2025年4月7日から急性呼吸器感染症(ARD)が定点把握対象疾患となりました。ARI定点から報告される症例は、咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のどれか1つの症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例です。



【第19週の保健所別報告数】

<患者報告数>

定点種別	疾患名	秋田県		秋田市		大館		北秋田		能代		秋田中央		由利本荘		大仙		横手		湯沢	
		患者報告数	定点あたり患者報告数	患者報告数	定点あたり患者報告数	患者報告数	定点あたり患者報告数	患者報告数	定点あたり患者報告数	患者報告数	定点あたり患者報告数	患者報告数	定点あたり患者報告数	患者報告数	定点あたり患者報告数	患者報告数	定点あたり患者報告数	患者報告数	定点あたり患者報告数	患者報告数	定点あたり患者報告数
急性呼吸器感染症定点	インフルエンザ	14	0.56	1	0.11	2	1.00	3	1.50							3	1.50	3	1.50	2	1.00
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	26	1.04	12	1.33	1	0.50	1	0.50				2	1.00	4	2.00	2	1.00	4	2.00	
	急性呼吸器感染症	799	31.96	360	40.00	89	44.50	31	15.50	7	3.50	23	11.50	123	61.50	58	29.00	49	24.50	59	29.50
小児科定点	RSウイルス感染症	3	0.23	3	0.60																
	咽頭結膜熱																				
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	11	0.85	4	0.80	1	1.00					1	1.00	4	4.00			1	1.00		
	感染性胃腸炎	33	2.54	12	2.40	2	2.00	4	4.00	9	9.00			3	3.00			3	3.00		
	水痘	1	0.08	1	0.20																
	手足口病																				
	伝染性紅斑																				
	突発性発しん	1	0.08			1	1.00														
	ヘルパンギーナ																				
	流行性耳下腺炎																				
眼科定点	川崎病																				
	急性出血性結膜炎							*	*	*	*	*	*							*	*
	流行性角結膜炎	1	0.14	1	0.33			*	*	*	*	*	*							*	*
基幹定点	細菌性髄膜炎											*	*								
	無菌性髄膜炎											*	*								
	マイコプラズマ肺炎	1	0.13	1	1.00							*	*								
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)											*	*								
	感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)											*	*								

・定点あたり患者報告数(人/定点)は、1週間(月～日曜日)のうち定点医療機関から報告された患者数を定点医療機関数で割った値を示します。

・「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は当該週における患者の報告がなかったことを示します。

<定点医療機関数>

定点種別	秋田県	秋田市	大館	北秋田	能代	秋田中央	由利本荘	大仙	横手	湯沢
急性呼吸器感染症定点	25	9	2	2	2	2	2	2	2	2
小児科定点	13	5	1	1	1	1	1	1	1	1
眼科定点	7	3	1	0	0	0	1	1	1	0
基幹定点	8	1	1	1	1	0	1	1	1	1



<全数把握対象疾患>

類型	疾患名	1週-18週		19週
		全国	秋田	秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ペスト			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
二類	急性灰白髄炎			
	結核	4688	17	1
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ(H5N1)			
	鳥インフルエンザ(H7N9)			
三類	コレラ			
	細菌性赤痢	28		
	腸管出血性大腸菌感染症	666	4	
	腸チフス	11		
バラチフス	5			
四類	E型肝炎	231	3	
	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	72	1	
	エキノコックス症	6		
	エムボックス	49		
	黄熱			
	オウム病	1		
	オムスク出血熱			
	回帰熱			
	キャサナル森林病			
	Q熱			
	狂犬病			
	コクシジオイデス症	2		
	ジカウイルス感染症			
	重症熱性血小板減少症候群	29		
	腎症候性出血熱			
	西部ウマ脳炎			
	ダニ媒介脳炎			
	炭疽			
	チクングニア熱			
	つつが虫病	43		
	デング熱	28		
	東部ウマ脳炎			
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)			
	ニパウイルス感染症			

類型	疾患名	1週-18週		19週
		全国	秋田	秋田
四類	日本紅斑熱	37		
	日本脳炎	2		
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病			
	鼻疽			
	ブルセラ症			
	ベネズエラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ポツリヌス症			
	マラリア	13		
	野兔病			
	ライム病			
リッサウイルス感染症				
リフトバレー熱				
類鼻疽				
レジオネラ症	571	7	1	
レプトスピラ症	3			
ロッキー山紅斑熱				
五類	アmeerバ赤痢	163	1	
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	66		
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	333	5	2
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	8		
	急性脳炎	155		
	クリプトスポリジウム症	4		
	クワイツフェルト・ヤコブ病	60		
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	514		1
	後天性免疫不全症候群	297		
	ジアルジア症	12		
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	186	2	
	侵襲性髄膜炎菌感染症	22		
	侵襲性肺炎球菌感染症	1128	5	1
	水痘(入院例に限る)	259	3	
	先天性風しん症候群			
	多剤耐性緑膿菌感染症	30		1
	梅毒	3706	8	
播種性クリプトコックス症	67			
破傷風	31			
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症				
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	33	1	1	
百日咳	2651	19	1	
風しん	1			
麻疹	462			
薬剤耐性アシネトバクター感染症	6			

<全数把握対象疾患>

- ・二類感染症の結核が大仙保健所管内から1人、報告されました。
- ・四類感染症のレジオネラ症が秋田市保健所管内から1人、報告されました。
- ・五類感染症のカルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症が秋田市保健所管内から2人、報告されました。
- ・五類感染症の劇症型溶血性レンサ球菌感染症が秋田市保健所管内から1人、報告されました。
- ・五類感染症の侵襲性肺炎球菌感染症が秋田市保健所管内から1人、報告されました。
- ・五類感染症の多剤耐性緑膿菌感染症が秋田市保健所管内から1人、報告されました。
- ・五類感染症のバンコマイシン耐性腸球菌感染症が秋田市保健所管内から1人、報告されました。
- ・五類感染症の百日咳が大仙保健所管内から1人、報告されました。

感染症の集団発生報告

感染性胃腸炎1件、かぜ様症状2件の集団発生報告がありました。

事例の種類	管轄保健所	施設種別	報告日	有症者数			把握期間	主な症状
				利用者(園児、入所者等)	職員	計		
感染性胃腸炎	由利本荘	社会福祉施設	5/8	269名のうち 16名	256名のうち 5名	21名	4/27 ~ 5/8	嘔吐、下痢、発熱
かぜ様症状	秋田市	高齢者施設	5/7	70名のうち 27名	45名のうち 2名	29名	4/29 ~ 5/7	発熱、咽頭痛、咳、鼻汁、下痢
	秋田市	高齢者施設	5/8	49名のうち 12名	35名のうち 0名	12名	4/28 ~ 5/7	発熱、咽頭痛、咳、鼻汁、痰

※社会福祉施設等における、原則、10人以上または利用者の半数以上の発生報告です。

※新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の集団発生報告は5ページに掲載しています。



インフルエンザ情報(2025/2026年シーズン)のまとめ

【2025年第36週～2026年第19週:2025年9月1日～2026年5月10日】

インフルエンザの流行状況

- **流行入り** 2025年第42週(10月13日～10月19日)：定点あたり患者報告数1.20(人/定点)
2025年第42週に流行の目安となる1.00を上回り、今シーズンの流行入りをしました。
- **流行ピーク** 2025年第47週(11月17日～11月23日)：定点あたり患者報告数75.72(人/定点)
2025年第47週をピークに、患者報告数は減少傾向となりました。しかし、2026年第4週(1月19日～1月25日)から再度増加し、2026年第6週(2月2日～2月8日)に25.76と、2回目のピークを迎えました。
- **終息** 2026年第17週(4月20日～4月26日)：定点あたり患者報告数0.84(人/定点)
2026年第17週に流行の目安である1.00を下回り、今シーズンの流行が終息しました。

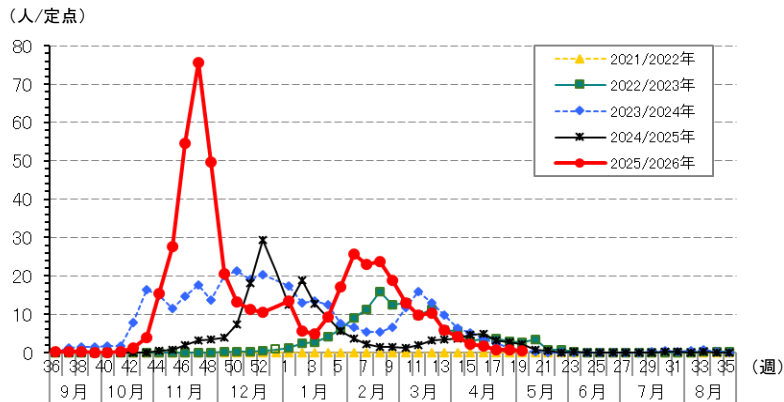


図1 秋田県におけるインフルエンザの定点あたり患者報告数

インフルエンザウイルスの検出状況

■ 県健康環境センターの病原体定点観測調査において、111件のインフルエンザウイルスが検出されました。その内訳は、A型はH1pdm型が2件、H3(香港)型が62件、B型はビクトリア系統が47件でした。

表1 インフルエンザウイルスの型別検出状況 (件)

	A型		B型		計
	H1pdm型	H3(香港)型	ビクトリア系統	山形系統	
検出数	2	62	47	0	111

※県内9医療機関から提供された患者検体の調査結果です(5月10日現在)

インフルエンザ入院サーベイランス集計

- 第19週までに県内8基幹定点医療機関から報告のあったインフルエンザによる入院患者報告数は、371人でした。
- そのうち、ICU入室または人工呼吸器を要したのがそれぞれ1人、頭部CT、MRI検査または脳波検査を要したのが延べ33人でした。
- 年齢別にみると、10歳未満(195人)が全体のおよそ5割を、60歳以上(123人)が全体のおよそ3割を、占めました。

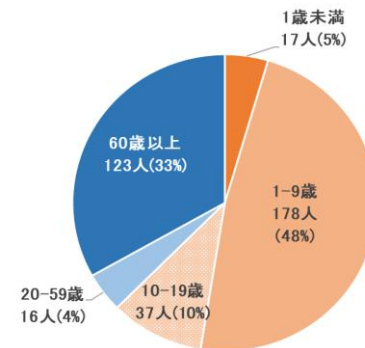


図2 秋田県におけるインフルエンザ入院患者の年齢階級別割合

社会福祉施設等におけるインフルエンザの集団発生状況

- 第19週までに計219件の集団発生報告がありました。
- 定点あたり患者報告数の増加に伴い、11～12月と2～3月に報告が多くなりました。
- 教育・保育施設(幼稚園、保育所、認定こども園等)での発生が多く、乳幼児における集団発生が全体のおよそ8割を占めました。
- 集団発生におけるインフルエンザウイルスの型は、A型が171件、B型が45件、A型とB型の混合事例が3件でした。12月までA型が主流でしたが、1月以降はほぼB型に置き換わりました。

表2 秋田県におけるインフルエンザ集団発生件数 (件)

	教育・保育施設	社会福祉施設	高齢者施設	医療機関	月計
9月	0	0	0	1	1
10月	3	0	0	1	4
11月	91	5	12	1	109
12月	40	3	4	2	49
1月	7	1	2	1	11
2月	24	1	0	0	25
3月	12	3	0	0	15
4月	5	0	0	0	5
5月	0	0	0	0	0
合計	182	13	18	6	219

※社会福祉施設等における、原則、10人以上または利用者の半数以上の発生報告です

今シーズンのインフルエンザ発生状況に関する詳細報告は、今週号をもって終了します。社会福祉施設等における集団発生が報告された場合は、今後も随時、週報内で報告していきます。



2026年度 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)情報

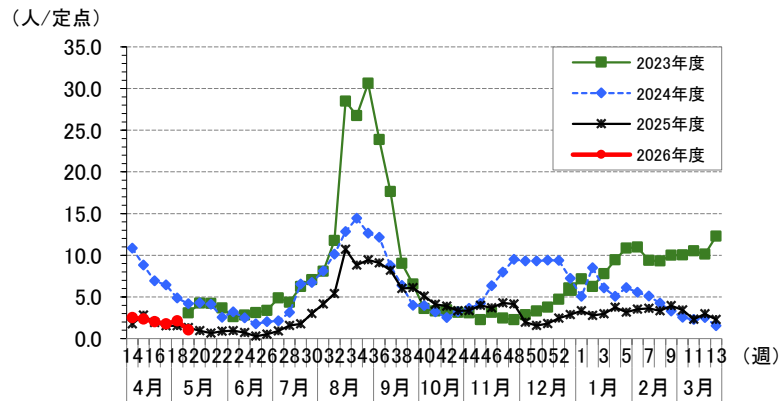


図1 秋田県におけるCOVID-19の定点あたり患者報告数

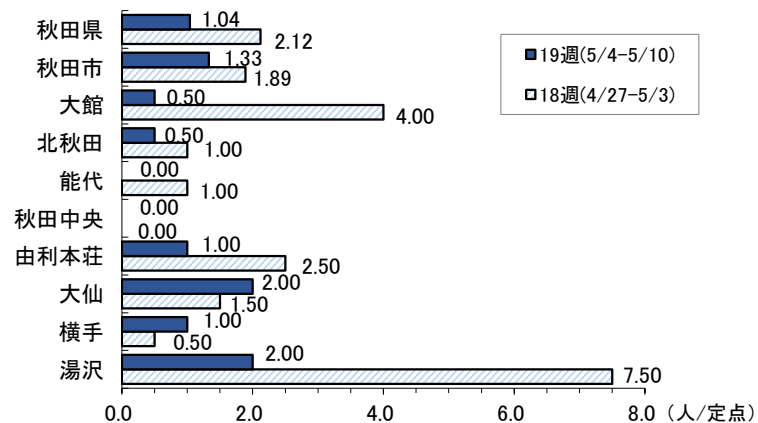


図2 秋田県各保健所におけるCOVID-19の定点あたり患者報告数

- ・定点あたり患者報告数は、1週間(月～日曜日)のうち定点医療機関から報告された患者数を定点医療機関数で割った値を示します。
- ・保健所別患者報告数、定点医療機関数は2ページに掲載しています。

COVID-19入院サーベイランス

表 COVID-19による入院患者報告数(人)

2026年第1週～2026年第18週		2026年第19週
全国	秋田県	秋田県
10594	225	4

※入院サーベイランスの患者報告数は、秋田県内8か所、全国約500か所の基幹定点医療機関からの報告です。

社会福祉施設等におけるCOVID-19の集団発生状況

管轄保健所	施設種別	報告日	感染者数(疑い含む)			把握期間	主な症状
			利用者(園児、入所者等)	職員	計		
大仙	社会福祉施設	5/7	55名のうち 15名	38名のうち 0名	15名	5/3 ~ 5/7	発熱

【2026年度の累計報告数】 15施設(教育・保育施設1、社会福祉施設3、高齢者施設8、医療機関3)

※社会福祉施設等における、原則、10人以上または利用者の半数以上の発生報告です。

※「教育・保育施設」とは幼稚園、保育所、認定こども園等を指します。



【注意報・警報の発生状況】

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
注意報・警報はありません。		

■ 注意報・警報の定義

【注意報・警報の定義】

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

*2025年4月7日からは、眼科定点から報告のある2疾患のみ注意報・警報発令の対象となりました。

対象疾患	注意報	警報		対象疾患	注意報	警報	
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)
急性出血性結膜炎	-	1	0.1	流行性角結膜炎	-	8	4

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		